



『ありこのおつかい』

石井 桃子/さく 中川 宗弥/え (福音館書店)



アリのありこはおつかいの途中、道草をくったばかりにカマキリにのみこまれ、そのカマキリはムクドリに、ムクドリはヤマネコに……。楽しいぐるぐる話が絵本になりました。*

『ウェン王子とトラ』

チェン ジャンホン/作・絵 平岡 敦/訳 (徳間書店)



人間を憎みながらも、小さく弱いものを愛する気持ちを忘れなかった母トラと、強く心やさしい少年に育ち、人と獣の世界を結ぶ存在となる王子ウェンの姿を描く、心ゆさぶる迫力の絵本。

『介助犬レスキューとジェシカ』

ジェシカ・ケンスキー/文 パトリック・ダウネス/文
スコット・マグーン/絵 よしい かずみ/訳 (BL出版)



大けがで足を失い失意の底にある少女ジェシカのもとに、盲導犬から介助犬になったレスキューがやってきた。ふたりの息はぴったりで…。実話をもとにした絵本。

『とんでいったふうせんは』

ジェシー・オリベロス/文 ダナ・ウルエコッテ/絵
落合 恵子/訳 (絵本塾出版)



みんなが持っている「思い出」のふうせん。ある日、おじいちゃんの手を離れてふうせんが飛んでいったのに、おじいちゃんは気づかなくて…。アルツハイマー病を発症した祖父と、優しい孫の姿を描いた絵本。

『世界一おもしろい国旗の本』

ロバート・G.フレッソン/絵・文 小林 玲子/訳
(河出書房新社)



星や太陽、十字架に武器…世界の国旗には、どれも長い歴史が刻まれている。美しいイラストと文章で、国旗の歴史を丁寧に紹介する。国旗を通して世界を楽しく学べる国旗絵本。

『リヤカーマンアフリカに行く』

永瀬 忠志/文・写真 勝又 進/絵 (学研)



“リヤカーマン”と呼ばれる著者は、1年がかりで歩いてアフリカ大陸を横断・縦断して、11000キロの旅を達成した。子供の頃からの夢だったこの冒険を、どのように実現させていったのか？ これは、その旅の記録である。

『ホネホネたんけんたい』

西澤 真樹子/監修・解説 大西 成明/しゃしん
松田 素子/ぶん (アリス館)



ホネのなかで血をつくる？舌や鼻のなかにもホネがある？鳥のホネはスカスカ？ひれのなかにも指のホネが？へびやカメなどいろいろな動物のホネを紹介して、そのふしぎやひみつを解き明かします。

『あけちゃダメ！』

小川 英子/作 奈知 未佐子/絵 (新日本出版社)



寛太が冷蔵庫をあけたら、黒い牛がいて「ご入り用のものはなんですか」と話しかけてきた。牛乳が飲みたいと答えた寛太に、牛はどんな牛乳がいいかと聞いてきて…。「冷蔵庫をあけたら」「洗濯機をあけたら」の全2編を収録。



『かいじゅうのさがしもの』
富安 陽子/作 あおき ひろえ/絵
(ひさかたチャイルド)



長い間、押入れの中で忘れ去られていたぬいぐるみのかいじゅう。ある日かいじゅうは、自分に足りない「何か」をさがして、外の世界へ出ていきます。やがて、原っぱでひとりの男子と出会って…。

『消えた時間割』
西村 友里/作 大庭 賢哉/絵 (学研プラス)



はじめは墨汁が飛びちった時間割だった。算数、体育、総合…。墨汁が消したとおりに、時間割にあったはずのできごとが消えていく。これって、偶然？ まち調べて訪れた寺の、書の達人の伝説とは。

『こだわっていこう』
村上 しいこ/作 陣崎 草子/絵 (学研プラス)



物知りで、時々「こだわりスイッチ」が入る、そうまくん。ある事件のせいで、お母さんに「そうまくんと、もう遊んじゃだめ」と言われてしまい…。そうまくんは、ぼくの友だちなのに！子ども達の優しく繊細な心と成長を描く。

『こちらいそがし動物病院』
垣内 磯子/作 マツバラリエ/絵 (フレーベル館)



八木先生は、動物のお医者さん。動物が大好きで、夢はペンギンを飼うこと。そんな先生のところには、今日もたくさんの動物たちがやってきます。ほかでは治らないケガだって、先生にかかったら…ほら、治ります。

『俳句ガール』
堀 直子/作 高橋 由季/絵 (小峰書店)



小学4年生のつむぎは、おばあちゃんが通うケアハウスで俳句にであう。ある日の放課後、だれもない教室の黒板に俳句を書き残すと、次の日…。俳句のたのしさを知った少女のハッピーな成長ものがたり。

『火曜日のごちそうはヒキガエル』
ラッセル・E. エリクソン/作 ローレンス・ディ・フィオリ/絵
佐藤 涼子/訳 (評論社)



ウォートンとモートンは、ヒキガエルのきょうだい。2匹はなかよく土の中の家で暮らしています。冬のある日、ウォートンは、おばさんを訪ねることにしました。ウォートンがスキーで滑っていくと、雪の上に黒い影が…！

『13階建てのツリーハウス』
アンディ・グリフィス/作 テリー・デントン/絵
中井 はるの/訳 (ポプラ社)



ぼくらの口めがけてマッシュマロを飛ばしてくるマッシュマロ・マシン。人食いザメだらけの水そう…。これがぼくらのツリーハウスだ！ありえないことが次々と起きる、13階建てのツリーハウスのお話。

貸し出し中の本は
予約も出来ます。
詳しくは職員に
お尋ねください。

